



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2026年(令和8年)2月24日発行 ◆Vol.99

故きを温ねて、新しきを知る 《帯広葵学園のあしあと》

緑陽台認定こども園のこと

— 初めての受託事業 —

学校法人帯広葵学園
理事長 上野敏郎

現在の緑陽台認定こども園は、音更町から委託を受けて、2015年つまり平成27年から帯広葵学園が運営をしています。それまでは、音更町立緑陽台保育園と言いました。当時の葵学園は、帯広の森幼稚園とつじが丘幼稚園、そして預かり保育センター「あおいキッズハウス」の三つの施設を経営していました。その頃の幼稚園経営は働くお母さんを応援する「預かり保育」機能の充実は大変重要なものでした。幼稚園の生き残りをかけると言い切れるものだったのです。

ある日、何気なく開いた地元新聞に目を通すと、音更町が緑陽台保育園の委託先を募集しているとの記事が飛び込んできました。保育園だから学校法人は関係ないだろうと思いつつ読んでいくと、社会福祉法人だけではなく学校法人もいいたります。私は、そこをしっかりと何度も読み直したのです。なぜか。それは、当時、帯広市も保育園の民間委託を進めていましたが、応募できる法人はすべて社会福祉法人でした。それに疑問を覚えた私は、市に何度も保育園の委託先を幼稚園を経営する学校法人まで広げて欲しいとお願いしていたのです。しかし、当時の帯広市はその窓口をかたくなに開いてはくれなかったのです。そしてその方針は、その後もしばらく続きます。

しかし、音更町は学校法人にその機会を与えてくれました。さっそく葵学園は応募の準備に入ります。初めての経験です。応募要項にある必要書類を取り揃え、なぜ応募するかを発表するプレゼンテーションにももちろん参加します。そのプレゼンでは、葵学園は幼児教育の経験しかないこと、しかし、現在の幼稚園教育も働くお父さん、お母さんの現状を理解しない体制では成り立たないこと、そして、葵学園は子どもたちとの向き合い方の柱を日本の大人が昭和26年に子どもたちに約束した「児童憲章」においていることをお話ししたのでした。しばらくして、緑陽台保育園の運営を葵学園に任せるとする回答を音更町からいただくことができたのです。

葵学園の職員のみなさんには、こんな経過があって葵学園は音更町で子どもたちと向き合う仕事を知って欲しいと思います。



 学校法人 帯広葵学園

〒080-0022
帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F
TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778
URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>

